

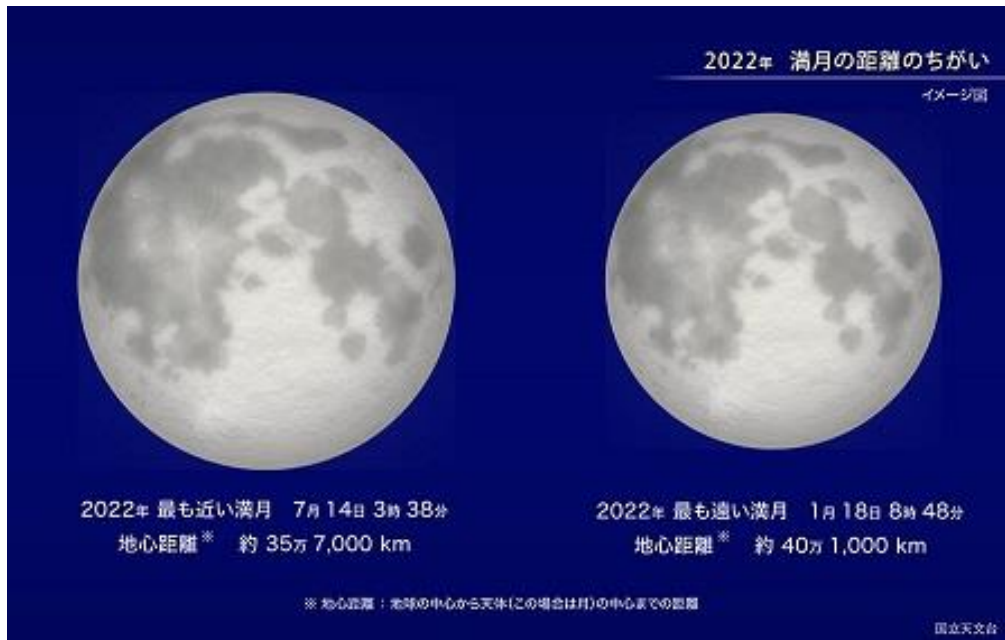
## うぶやま天文台星空情報③

# 今年最も地球から 最も近い満月



今回の星空情報は、7月14日の今年最も地球から近い満月（スーパームーン）の情報です。1月19日の満月は、2022年で地球から最も遠い位置で起きた満月でしたが、7月14日の未明に、2022年で地球から最も近い位置で満月になります。月は7月13日午後6時6分に近地点を通過し、日付けが変わった14日の3時38分に満月（望）となります。満月のときの地心距離は約35万7400km、月の視直径は約33分25秒角です。

満月までの距離はなぜ変わるのかというと、地球の周りを公転する月の軌道は楕円形をしているため、地球と月の距離は一定ではありません。さらに、月の軌道は太陽や地球の重力の影響を受けて変化しています。そのため、満月や新月のときの距離は、下記の図のように毎回異なります。地球に最も近い満月は、地球から最も遠い満月に比べて視直径が12%大きく、光っている部分の面積は26%程度の差があります。とはいえ、実際の夜空に月を二つ並べて比較することはできないため、夜空の月を眺めただけで大きさの変化に気づくのは難しいでしょう。



地球最接近の月と最遠の月との大きさの違い

